

DogNose通信(24)2019-9-2



DogNose永遠のルーキ:Luke

- センサ研究開発・製造販売
- ・課題解決型のセンサ開発
- ・シーズベースのセンサご提案
- ・IoTセンサシステム製造販売

News:

- (1) Prof. C Araujoとの30年ぶりの再開
- (2) DogNose Tech:
 - ①センサEXPO (9/11-13) 出展します。
 - ②Dog Soil 高耐性土壤水分センサを出展します。
 - ③Dog Sniffer にDeep Learning搭載を検討開始

DogNoseセンサ技研

代表 三原 孝士(工学博士) 東京都西東京市

mihara.dognose.sen@gmail.com

<http://dognosesens.web.fc2.com/>

News: Prof. C Araujoとの30年ぶりの再開

高知工科大・起業工学の20周年記念講演に行ってきました。そこで招待講演者(30年前に強誘電体メモリの共同研究でご指導を受けた)コロラド大CS校のProf Araujoと30年ぶりに再会しました。Araujo先生は強誘電体メモリの先駆的研究で貢献されましたが、さらに新たに、モット転移に基づく新規なメモリデバイスを発明され、元気で世界中で活躍されています。



Prof. C Araujo 教授と

DogNose News:

①センサEXPO (9/11-14) 出展します。

9月11-13日 東京BigSiteで開催されるセンサEXPOの次世代センサ協議会のエリア:「SJ-03」に出展します。

②Dog Soil 高耐性土壤水分センサを出展します。

今回の出展の目玉として、高耐性土壤水分センサDog Soilを出展・デモします。今回は技術展示で、高感度の交流電界インピーダンス計測型・容量計測の応用事例です。センサは電極封止型のため、高い耐久性を持ち、また土壌中のミネラル成分によらずに水分量のみを計測できます。また小型・低消費電力のため、安全なNiHM2次電池と小型太陽パネル、TWELite無線との組み合わせで、メンテフリーの無線連続計測が可能です。更に土壌の等価回路計測を目指して複数の周波数を用いた多機能型も参考出展します。

③Dog Sniffer にDeep Learning搭載を検討開始

Dog Snifferはキャリブレーションコストが掛かり過ぎて開発を中断をしていますが、精度の高いキャリブレーションを行わなくても、沢山のセンサの変化量を用いて環境変化のモニターが可能なDeep Learningの搭載の検討を専門家に依頼して開始しました。



Dog Soil
高耐性土壤水分センサ



Dog Soil の内部(NiHM2次電池は外した状態)